

高齢者・障害者のための

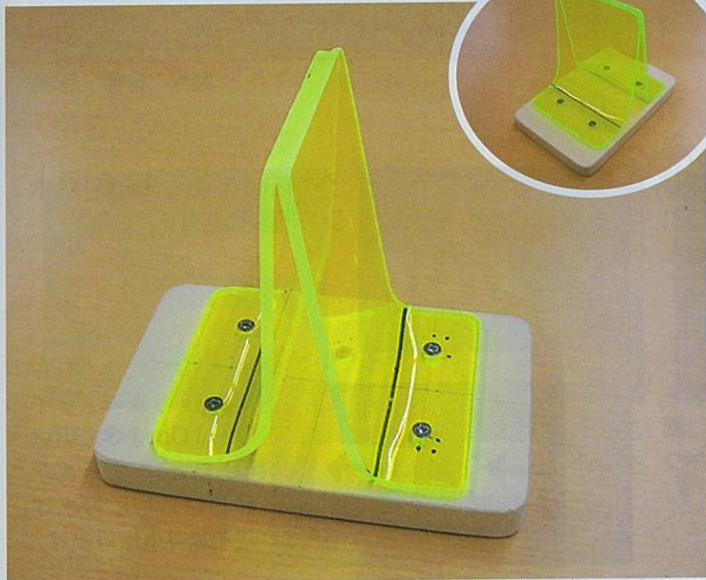
お役立ち手作り 自助具

自助具とは、運動機能などに障害のある人のために、自力で日常生活動作を行えるように工夫して作られた器具・道具をいいます。

提供 / 社会福祉法人 北九州市福祉事業団 福祉用具プラザ北九州
〒802-8560 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目7-1 総合保健福祉センター1階
TEL. (093) 522-8721 FAX. (093) 522-8771

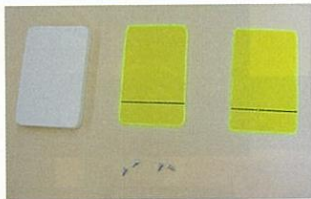
カットヘルパー (挟み切り器) を作ろう

片麻痺などで両手での作業が難しく、粉薬の袋が開けにくい方におすすめです。



材 料

木の板(8×12×1.2cm) …… 1枚
アクリル板(7×12×0.3cm) …… 2枚
木ネジ(1cm×径3mm) …… 4個



使い方

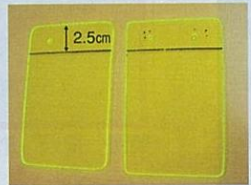
袋の口がはみ出すようにアクリル板に挟み、ハサミで袋を切ります。



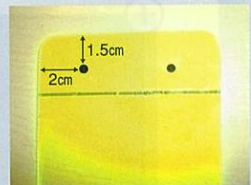
- 患側の腕や物で押さえて、台が動かないように固定しましょう。
- 薬袋、封筒、小さなお菓子袋などを簡単に開封できます。
- 普通のハサミが使いにくい方は、バネ付きのハサミを使うと切りやすくなります。

作り方

① アクリル板の短辺から2.5cmのところから折り線を引きます。



② アクリル板の短辺から1.5cm、長辺から2cmのところから3.5mmの穴を2ヶ所開けます。



③ アクリル板の折り線をヒートガン(またはドライヤーの強)で温め、机の角などを使って直角に曲げます。



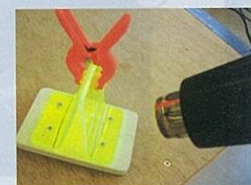
④ 木板の長辺の中心から左右3cmのところから2本線を引き、その線にアクリル板の2個の穴を重ねて錐で穴を開けます。



⑤ ④のアクリル板と木板の穴を木ネジで固定します。もう1枚のアクリル板も同様に、向かい合わせになるように木板に固定します。



⑥ ⑤のアクリル板を2枚一緒に大きな洗濯ばさみで止め、曲がった部分をヒートガンで温めて、アクリル板の上辺がくっつくように角度を調整します。



※このコーナーの自助具は全国の先輩方のアイデアを福祉用具プラザ北九州で作製・改良したものを掲載しています。